



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月1日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 サンゲツ

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 助川 達夫

四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 052-564-3333

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	64,989	1.1	3,558	△22.0	3,964	△16.7	2,869	△11.0
28年3月期第2四半期	64,256	0.4	4,559	16.2	4,762	12.9	3,225	49.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 2,343百万円 (△19.0%) 28年3月期第2四半期 2,892百万円 (△5.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	42.46	42.41
28年3月期第2四半期	44.66	44.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	138,848	106,987	77.0
28年3月期	139,220	108,517	77.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 106,900百万円 28年3月期 108,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	22.50	—	25.00	47.50
29年3月期	—	25.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,000	2.3	8,000	△12.2	8,600	△9.1	5,900	△7.7	87.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	68,070,000 株	28年3月期	69,170,000 株
29年3月期2Q	892,651 株	28年3月期	863,193 株
29年3月期2Q	67,587,702 株	28年3月期2Q	72,209,934 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(平成28年4月1日～9月30日)のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調が見られたものの、世界経済の減速懸念や国内外の情勢不安など景気全体の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社事業に関連の深い住宅市場においては、新設住宅着工戸数が本年1月から9月は前年比5.8%増になるなど、緩やかながら改善の兆しが見えておりますが、リフォーム市場は前年比減となり力強さは感じられません。

このような状況のもと、当社グループは、2014年6月に発表した“中期経営計画(2014-2016) Next Stage Plan G”の最終年度を迎え、将来の成長に向けた事業基盤の整備の為の諸施策を実行しております。本年4月には新しいブランド理念“Joy of Design”を発表。インテリアにおけるトータルデザインをサポートする企業として、より身近に最新のインテリアを楽しんでいただける地方型ショールームを仙台、沖縄、金沢に新設しました。また、物流体制の強化として、8月に北関東ロジスティクスセンター(埼玉県久喜市)の稼働を開始し、10月には中部ロジスティクスセンターⅡ(愛知県稲沢市)の竣工(2017年1月稼働予定)など、物流拠点の統廃合を進めています。さらに、基幹システムの再構築及び新物流システムの導入に向けた最終準備を行っております。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高64,989百万円(前年同期比1.1%増)となったものの、事業基盤整備の為の大幅な計画的費用増により営業利益は3,558百万円(同22.0%減)、経常利益は3,964百万円(同16.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,869百万円(同11.0%減)となりました。

(インテリア事業)

インテリア事業においては、社外の若手デザイナーを積極的に起用し商品開発の活性化を図り、多品種・多様化する市場ニーズに対応した主力見本帳を発売し、市場への訴求に努めました。また椅子生地総合見本帳「UP(アップ)」を発売し、インテリア空間におけるデザインや機能など新たな提案に取り組みました。

壁装事業では、本年5月に主力見本帳「リザーブ」を発売しましたが、「ペットとともに暮らす」や「子どもと一緒に遊ぶ」など5つのコンセプトを提案することで消費者の嗜好に明確に対応するとともに、選定しやすい工夫や、素材を意識した「個性と洗練」をテーマにニーズが多様化するインテリア市場へ訴求しました。また賃貸住宅市場において量産壁紙にアクセントクロスをコーディネートし、住空間の価値向上をご提案しました。この結果、壁装材の売上高は27,488百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

なお、特定の仕入先からの一部の商品において品質問題が発生し、お客様相談室を設置の上、当該仕入先と連携しつつ当該商品の施工先住居、施設等に対する補修対策を実施しております。この補修に係る費用は仕入先によって全額負担されており、当社において損失は計上されておられません。

床材事業では、非住宅分野における商業施設や宿泊施設ならびにオフィスの新築や改装需要の獲得に努めました。また、本年9月に一般住宅向けクッションフロア「H-FLOOR」とマンションの廊下やベランダに施工するノンスリップシート「ノンスキッド」を発売し、持家、貸家、マンション市場への拡販にも努めました。本見本帳は3名の新進気鋭のデザイナーとのコラボレーションによるデザイン開発を行い過去に無いデザインにご好評いただいております。この結果、床材の売上高は19,565百万円(同2.2%増)となりました。

ファブリック事業では、昨年度に発刊したカーテン見本帳「サンウィング」「ACカーテンファブリックス」のコーディネート提案などのセミナーの開催やインテリアショップへの展示提案などを通じて拡販に努めました。また5年ぶりに「デザイン」とメンテナンス性など「機能」が充実した椅子生地総合見本帳「UP(アップ)」を9月に発売し、家具メーカーや設計事務所などへの積極的な営業展開を開始しました。これらカーテンと椅子生地を合わせたファブリックの売上高は3,643百万円(同0.0%増)となりました。

これらの他、施工代などを含むその他の売上5,018百万円(同2.6%増)を加え、インテリア事業における売上高は55,715百万円(同1.1%増)、営業利益は3,365百万円(同25.2%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、他社との競争が激化するなか、営業管理体制の再構築と工事力を強化しました。また関東地区が堅調に推移したことが牽引役となり、エクステリア事業における売上高は7,254百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は203百万円(同33.8%増)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、昨年から専門特化したソリューション営業を継続したことで、宿泊施設や公共施設での受注が拡大しました。また、株式会社サンゲツの法人営業部との情報共有などシナジー効果を高める営業体制を強化したことにより、売上高は2,051百万円(前年同期比4.0%増)、営業損失は4百万円(前年同期は営業損失85百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は、前期末に比べて372百万円減少し、138,848百万円となりました。また純資産は106,987百万円となり自己資本比率は77.0%となりました。

現金及び現金同等物は、前期末に比べ5,710百万円減少し、22,288百万円となりました。

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは8,186百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,971百万円と季節変動による売上債権の減少額4,016百万円などの収入があったことを反映したものです。

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは9,937百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出4,428百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出3,903百万円などによるものです。

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは3,932百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出2,223百万円、配当金の支払額1,707百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月16日に公表しました平成29年3月期の通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,802	24,932
受取手形及び売掛金	38,461	33,906
電子記録債権	7,113	7,651
有価証券	300	3,800
商品及び製品	10,165	11,018
仕掛品	146	1
原材料及び貯蔵品	1,403	1,881
その他	1,673	1,906
貸倒引当金	△239	△235
流動資産合計	88,825	84,862
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,354	19,494
その他 (純額)	11,649	14,119
有形固定資産合計	31,003	33,614
無形固定資産		
その他	1,295	2,058
無形固定資産合計	1,295	2,058
投資その他の資産		
投資有価証券	12,489	11,956
その他	5,877	6,562
貸倒引当金	△271	△205
投資その他の資産合計	18,095	18,312
固定資産合計	50,395	53,985
資産合計	139,220	138,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,200	11,559
電子記録債務	3,769	6,969
未払法人税等	1,794	1,485
賞与引当金	1,450	1,403
資産除去債務	222	189
その他	3,278	2,723
流動負債合計	22,716	24,330
固定負債		
役員退職慰労引当金	94	93
退職給付に係る負債	6,816	5,928
資産除去債務	447	598
長期未払金	0	274
その他	627	634
固定負債合計	7,986	7,529
負債合計	30,702	31,860
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	76,185	75,155
自己株式	△1,748	△1,753
株主資本合計	108,058	107,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,909	2,046
為替換算調整勘定	△237	△278
退職給付に係る調整累計額	△2,268	△1,891
その他の包括利益累計額合計	402	△123
新株予約権	55	87
純資産合計	108,517	106,987
負債純資産合計	139,220	138,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
売上高	64,256	64,989
売上原価	45,426	45,606
売上総利益	18,829	19,382
販売費及び一般管理費	14,269	15,824
営業利益	4,559	3,558
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	67	70
不動産賃貸料	43	43
持分法による投資利益	—	163
その他	106	142
営業外収益合計	231	425
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	1	1
自己株式取得費用	16	9
その他	10	8
営業外費用合計	28	18
経常利益	4,762	3,964
特別利益		
固定資産売却益	10	—
投資有価証券売却益	1	—
退職給付制度終了益	—	108
その他	0	0
特別利益合計	12	108
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	51	30
賃貸借契約損	—	67
その他	0	4
特別損失合計	53	102
税金等調整前四半期純利益	4,721	3,971
法人税、住民税及び事業税	1,369	1,260
法人税等調整額	126	△158
法人税等合計	1,496	1,102
四半期純利益	3,225	2,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,225	2,869

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
四半期純利益	3,225	2,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△384	△867
為替換算調整勘定	—	△27
退職給付に係る調整額	52	360
持分法適用会社に対する持分相当額	—	7
その他の包括利益合計	△332	△526
四半期包括利益	2,892	2,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,892	2,343

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,721	3,971
減価償却費	630	1,066
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△260	△70
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	121	△369
受取利息及び受取配当金	△81	△76
支払利息	0	0
受取保険金	△0	△9
為替差損益 (△は益)	△0	△2
持分法による投資損益 (△は益)	—	△163
売上債権の増減額 (△は増加)	4,139	4,016
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△593	△1,183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△508	2,559
その他	△791	△111
小計	7,376	9,627
利息及び配当金の受取額	84	74
利息の支払額	△0	△0
保険金の受取額	0	9
法人税等の支払額	△1,223	△1,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,236	8,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,004	△2,243
定期預金の払戻による収入	12,463	1,402
有価証券の取得による支出	—	△2,500
有形固定資産の取得による支出	△1,839	△3,581
無形固定資産の取得による支出	△69	△846
投資有価証券の取得による支出	△4	△1,403
投資有価証券の償還による収入	13,000	8
長期前払費用の取得による支出	△6	△569
その他	310	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,849	△9,937
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△92	—
自己株式の取得による支出	△2,729	△2,223
配当金の支払額	△1,644	△1,707
その他	2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,464	△3,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△27
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,621	△5,710
現金及び現金同等物の期首残高	15,540	27,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,162	22,288

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	55,119	7,185	1,950	—	64,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	22	△22	—
計	55,119	7,185	1,973	△22	64,256
セグメント利益又は 損失 (△)	4,496	152	△85	△3	4,559

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	55,715	7,254	2,018	—	64,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	33	△33	—
計	55,715	7,254	2,051	△33	64,989
セグメント利益又は 損失 (△)	3,365	203	△4	△6	3,558

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。